

# インフォメーション・コーナー

## 会 告

○平成 22 年度農業農村工学会大会講演会の開催について (第 1 報) ㊦	72
○平成 21 年度全国優秀技術発表会の開催について (第 1 報) ㊦	72
○土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」発行のお知らせ	73
○学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集!!	73
○「農業農村工学会学術基金」の募金について	73
○農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてのごお願い	74
○身近にある水利遺構で表紙を飾ろう!!	
「水土の知 (農業農村工学会誌)」平成 23 年秋季～冬季の表紙写真の募集	74
○「水土の知 (農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております!	75
○国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のごお願いと国際ジャーナル 「Paddy and Water Environment」について	76
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のごお願いと 2009 年 1 月から 2011 年 12 月までの編集事務局 (投稿先) のお知らせ	76
○北海道支部講習会の開催について (第 1 報) ㊦	77
○平成 21 年度京都支部地方講習会・研修会の開催について (第 2 報) ㊦	77
○中国四国支部第 33 回地方講習会の開催について (第 2 報) ㊦	78
○平成 21 年度農業水利研究部会研究集会開催のお知らせ (第 1 報) ㊦	79
○第 47 回材料施工研究部会シンポジウムの開催について (第 2 報) ㊦	79
農業農村工学会論文集第 264 号内容紹介	80
学会記事	82

### 第 78 巻第 1 号予定

展望：生物多様性戦略と農業農村工学：泉 峰一

小特集：地球環境 (地球温暖化) 問題と農業農村工学

- ① 農業農村工学分野における地球環境研究の現状と課題：渡邊紹裕
- ② 地球環境温暖化と農業農村整備事業：高橋順二
- ③ 地球温暖化の流域水循環・食料生産に及ぼす影響の研究：増本隆夫
- ④ 農耕地からの温室効果ガス発生緩和策：八木一行
- ⑤ 石川県における COP 10 に向けた取組み：勝山達郎ほか
- ⑥ 生物多様性保全と農業農村整備：高橋俊守

### 技術リポート

- 北海道支部：網走地域の傾斜畑における土壌流亡と保全対策について：高木優次ほか  
 東北支部：「雪室 (ゆきむろ)」を活用した付加価値創出の取組み：五十嵐昭弘ほか  
 関東支部：地すべり防止指定地域の旧水路トンネル微粉土グラウト閉塞工：諸田正喜ほか  
 京都支部：豊田土地改良区による水田魚道の取組み：佐藤邦彦ほか  
 中国四国支部：老朽化したダムの設備改修：土井祥久ほか  
 九州支部：北新地地域における暗渠排水の排水不良対策について：磯本佐知子ほか

小講座：生物多様性保全：神宮宇 寛

私のビジョン：途上国における在外研究から思うこと：藤原洋一

## 農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。奮って参加下さるよう、お待ちしております。

ⓑのマークは、技術者継続教育認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成22年1月28日	北海道支部	支部講習会	ⓑ 土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」の解説ほか	札幌市	77巻12号
平成22年1月28日	中国四国支部	第33回地方講習会	ⓑ 「土地改良事業計画設計基準—パイプライン—」の解説ほか	松江市	77巻11,12号
平成22年2月13日	農業水利研究部会	平成21年度研究集会	ⓑ 水利資産の地域的活用と土地改良区の経営	東京都	77巻12号
平成22年2月18,19日	京都支部	平成21年度地方講習会・支部研修会	ⓑ 土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」の解説ほか	金沢市	77巻10,12号
平成22年2月19日	行事企画委員会	平成21年度全国優秀技術発表会	ⓑ	東京都	77巻12号
平成22年3月5日	材料施工研究部会	第47回シンポジウム	ⓑ 農業水利施設の補修・補強対策の現状と今後の展望	東京都	77巻11,12号
平成22年8月31日～9月3日	大会運営委員会	平成22年度農業農村工学会大会講演会	ⓑ	神戸市	77巻12号

## 平成22年度農業農村工学会大会講演会の開催について（第1報）

## 大会運営委員会

技術者継続教育プログラム認定申請中



平成22年度農業農村工学会大会講演会は、神戸大学百年記念館（六甲台第2キャンパス）および共通教育棟（鶴甲第1キャンパス）において平成22年8月31日（火）～9月3日（金）に開催を予定しています。なお、発表の投稿要項、参加申込み方法など、詳細は続報でお知らせいたします。

1. 開催期日 平成22年8月31日（火）～9月3日（金）  
（9月3日（金）は現地研修会）

## 2. 会場

開会式：神戸大学六甲台第2キャンパス  
神戸大学百年記念館（神大会館）六甲ホール

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

講演会：神戸大学鶴甲第1キャンパス・共通教育棟

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

交流会：新神戸駅前 クラウンプラザ神戸

〒650-0002 神戸市中央区北野町1

3. 講演会 平成22年8月31日（火）～9月2日（木）

4. 交流会\* 平成22年8月31日（火）

\*ご来賓・受賞者の方を含む参加者全員から会費を徴収させていただきます。

5. 見学会 平成22年9月3日（金）

## 平成21年度全国優秀技術発表会の開催について（第1報）

## 行事企画委員会

技術者継続教育プログラム認定申請中



平成21年度全国優秀技術発表会を下記のとおり企画しました。本発表会は、平成19年度まで中央講習会として実施してきたものを名称変更しました。

本年度の各支部大会報告の中から、特に評価が高く、全国的なモデルになり得る地域の新たな取り組みについて、各支部より発表いただくことを念頭に下記のとおり企画いたしましたので、ご参加下さい。

1. 主催 農業農村工学会行事企画委員会

2. 期日 平成22年2月19日（金）

3. 場所 農業土木会館6階会議室

4. プログラム（予定）10:00～17:00

開会挨拶 行事企画委員長

講演 各支部選考の優秀技術に関する報告（40分程度）

講演 〃

講演 〃

講演 〃

意見交換

5. 参加費 一般 4,000円

会員割引 2,000円

学生割引 1,000円

6. 申込・問合せ先

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

社団法人 農業農村工学会 行事企画委員会

☎.03-3436-3418 FAX:03-3435-8494

E-mail:iwasaki@jsidre.or.jp 担当:菊辻,宇津木

土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」発行のお知らせ

この度、土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」が平成 21 年 11 月 20 日に発行されましたので、お知らせいたします。

購入希望の方は、下記要領にてお申し込み下さい。

なお、主要改定内容は、次のとおりです。

- (1) 「土地改良施設耐震設計の手引き」を踏まえた耐震設計
- (2) 水理解析と各施設設計等の関連性の整理
- (3) 水撃圧の検討
- (4) 補修・補強に関する技術資料の整備
- (5) 新技術の取り込み

※詳しくは本誌 63 ページの「計画基準解説」に改定の趣旨を掲載いたしましたので、ご参照下さい。

書籍名…土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」

価 格…5,300 円（消費税込，送料学会負担）

規 格…A4 判 約 600 ページ

申込方法

I. 役所等で、公用として購入される場合

FAX か E-mail でお申し込み下さい。様式は問いません。ご希望冊数，送付先住所，請求書の宛名をご記入下さい。

II. 個人，会社で購入される場合

①現金書留：書籍代金と，書籍名，冊数，送付先住所を書いた文書をご同封下さい。

②郵便振替(00160-8-47993)：振替用紙の通信欄に書籍名，冊数，送付先住所をご記入下さい。

申 込 先

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

(社) 農業農村工学会事務局 図書係

☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494

E-mail : suido@jsidre.or.jp

学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集!!

行事企画委員会

技術者継続教育機構通信教育部会

通信教育を平成 18 年 11 月より本格実施しております。学会誌購読による自己学習で最大年間 10 CPD ポイント，また，通信教育で最大年間 18 CPD ポイント取得できますので，是非，通信教育にご参加下さい。

1. 参加会員の募集

参加をご希望の正・学生会員で，かつ CPD 会員の方は，農業農村工学会のホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) にある参加申込書に必要事項を記載してメール (E-mail : cpd@cpd.jsidre.or.jp) あるいは FAX(03-5777-2099)でお送り下さい。

なお，この機会に農業農村工学会，継続教育機構への入会を希望される方は，同様にホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>，<http://www.jsidre.or.jp/cpd>) に申込様式がありますので，ご記入の上お申し込み下さい。

2. 申込期限

参加は，いつからでも可能です。

3. 内 容

問題は 3 カ月前の学会誌の報文等から，機構通信教育部会が作成し掲載します。

問題は択一式で，毎回 10 問出題します。報文の事実的内容から作成し，回答はメールで機構に送信していただきます。

採点の結果，7 割以上正解で 1 CPD ポイント，満点で 1.5 CPD ポイントが取得でき，CPD 会員の継続教育記録に自動的に登録されます。

解答は技術者倫理に則り，自らの責任において作成していただきます。

4. 参加費

学会会員のための行事の一環として実施するため，学会が必要経費を負担しますので，当分の間，通信教育参加費は無料です。

「農業農村工学会学術基金」の募金について

農業農村工学会は，農業農村工学の学術・技術の発展を通じて，わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし，昨今の日本の農業はかつてない厳しい環境におかれ，農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり，東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには，若い世代の育成，新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は，これら諸活動に資するものとして，平成 3 年 4 月に学術基金を創設し，これに上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し，さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金による助成は、平成21年度までに54件の実績をあげています。

個人会員一口 5,000円(何口でも可)

法人会員一口 50,000円(何口でも可)

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名(社) 農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

## 農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてのお願い

### 災害対応特別委員会

農業農村工学会では、近年における地震、豪雨等による災害が各地に発生し、農地・農業用施設等に甚大な被害をもたらしている状況に鑑み、それら災害の原因究明、復旧対策工法の採用等に対する支援を行う組織として、災害対応特別委員会を設置しています。

この災害対応特別委員会では、「①農地・農業用施設に甚大な被害が発生した自然災害」、「②学術的見地から緊急調査が必要と判断される自然災害」に対して、災害発生後、直ちに災害対応調査団を派遣し、調査の実施、復旧支援を行う体制を整備しています。

そこで、災害対応調査団を組織しなければならない事態が生じた時に、早急に対応できるよう、調査団のメンバーを希望される方は事前に登録の申請をお願いします。審査の結果、登録された会員は、災害対応調査団候補者名簿(2年ごと更新)に記載して、緊急災害等の場合に現地調査を行って頂きます。

なお、災害対応調査団の団員の資格および派遣の条件は、以

下のとおりです。

- ① 調査団の候補者は、高度な専門知識を有する農業農村工学会員とする。
- ② 派遣する調査団員は、候補者名簿の中から選定する。
- ③ 調査団の派遣期間は、原則2～3日とする。
- ④ 調査団派遣に関わる旅費は、農業農村工学会が後日精算する(年度予算限度額300万円)。
- ⑤ 調査団員に対して、調査に必要と考えられる保険を掛ける。
- ⑥ 調査団は、調査結果を速やかに報告する。

上記の趣旨をご理解のうえ、学会事務局 FAX 03-3435-8494、E-mail saigai@jsidre.or.jp までお申し込み下さい。様式は農業農村工学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) よりダウンロードして下さい。多数の応募をお待ちしております。

なお、登録頂いた個人情報、災害対応調査にのみ活用し、適切に取り扱います。

## 身近にある水利遺構で表紙を飾ろう!!

### 「水土の知(農業農村工学会誌)」平成23年秋季～冬季の表紙写真の募集

学会誌編集委員会では、平成23年も引き続いて皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。

#### 趣 旨

わが国は急峻な地形であることや水田稲作が発達したことに起因して、水を制する、水を利用するための土木的施設が数多く造られてきました。それら用水路、頭首工、堰堤などの水利施設は、今も過酷な自然の猛威にさらされながらも、農業経営、防災などの面で人々の生活を支えています。また、それぞれの機能を発揮するとともに、年月を重ねることでその地域の自然や文化にとけ込み、その景観を構成する要素として不可欠なものもあります。それが大規模プロジェクトで建設されたものでなくとも、私たちが調査・研究・事業の対象としている農村地域には、規模に違いこそあれ立派に機能美と景観美を放つものが存在します。

農業・農村の現場で活躍される皆さま、日頃何気なく見過ごしているかもしれない水利遺構とそれを含む景観の美しさを再評価いただいて、忙しい業務の合間にも、足を止め、手を休め

て写真として記録いただき、広く学会員にご紹介下さい。特に今回は、「秋」、「冬」が感じられる「水利遺構」の写真を募集いたします。

#### 記

#### 1. テーマ

「水利遺構：先人たちの技術と苦勞が垣間見える造形美」(昨年と同様)

#### 2. 対象巻号

学会誌第79巻(平成23年1～12月号)のうち、特に秋季～冬季のもの

#### 3. 写真の種類

単写真、組写真いずれもカラープリントで(デジタルカメラの場合はJPEG ファインモードまたはTIFF モードに設定)撮影して下さい(サイズは六ツ切)。組写真の場合は、その旨明記して下さい。

#### 4. 枚数

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

5. 締切 平成 22 年 3 月 31 日 (秋季～冬季の写真)

6. 審査

審査委員会 (編集委員と写真家) で選考します。

7. 結果発表

学会誌第 79 巻第 1 号で採用作品と掲載号を発表し、採用作品は平成 23 年度大会会場でパネル展示します。

8. 謝礼

採用作品には規定の賞金(1点につき 3 万円)をお支払いします。また、応募者には記念品をお送りします。

9. 「Cover History (表紙写真由来)」について

採用作品の応募者には学会誌掲載の「Cover History (表紙写真由来)」をご執筆頂きます。ご執筆の詳細は、採用決定時に応募者に直接お知らせします。なお、些少ですが原稿料をお支払いします。

10. 使用权

採用作品の使用权は (社) 農業農村工学会に属します。

11. 注意点

応募された被写体の季節が極端に偏ることから、募集する季節ごとに締切を設けさせていただきました。

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には、水利構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれること (花などの情緒物に埋没しないこと)、また、デジタル画像の場合は表紙に拡大したときにドット崩れしない十分な解像度があること、が採用の条件となります。

12. 応募方法および応募先

学会ホームページより、応募票をダウンロードし、タイトル、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、性別、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、撮影データ (フィルム、使用カメラ等)、対象物の固有名詞 (固有名詞)、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付してお送り下さい。

なお、原則として、応募写真は返却しません。

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

(社) 農業農村工学会

農業農村工学会誌編集委員会「表紙写真公募」係

☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494

E-mail : suido@jsidre.or.jp

「水土の知 (農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております！

学会誌編集委員会

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要

項」,「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿下さい。

学会誌 77, 78 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A4 判 1,500 字以内)	原 稿 締 切 (刷 上 り 4 ページ厳守)
78 巻 1 号 地球環境 (地球温暖化) 問題と農業農村工学	公募せず	
2 号 整備された環境配慮 (生態系保全) 施設の順応的管理 (仮)	公募終了	
3 号 鳥獣被害の防止策とその効果 (仮)	公募終了	
4 号 バイブラインの再生技術 (仮)	公募終了	平成 22 年 1 月 12 日
5 号 農用地整備による地域の振興 (仮)	公募せず	
6 号 大会関連	公募せず	
7 号 田園地域・里地里山の保全と生物多様性 (仮)	平成 22 年 1 月 25 日	平成 22 年 3 月 10 日

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌編集委員会あてにお寄せ下さい。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り 4 ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

ます。

送付先 〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

(社) 農業農村工学会 学会誌編集委員会あて

☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494

E-mail : henshu@jsidre.or.jp

78 巻 7 号テーマ「田園地域・里地里山の保全と生物多様性」(仮)

近年、農山漁村において過疎化・高齢化による地域農業の担い手不足等が進み、耕作放棄地、鳥獣被害が増加するなど、農林水産業が適切に行われることにより保全されてきた田園地域・里地里山等の貴重な生息・生育環境が失われつつありま

す。一方、各地では特色ある生物多様性の保全に貢献する取組みが展開され、農林水産業に有用な生物多様性指標の開発等も行われつつあります。さらに、生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP 10) が 2010 年 10 月に名古屋で開催されることか

ら、田園地域・里地里山における生態系やその保全への関心が高まってきています。

そこで、農業農村工学的見地から田園地域・里地里山における生物多様性の保全に関する課題について議論し、その情報を会員間で広く共有するために本小特集を企画しました。事例の

報告にとどまることなく、田園地域・里地里山の保全への取り組みが生物多様性に与える影響、新たな課題、新方策の提案、保全団体組織間の連携方法に関する事など、今後の田園地域・里地里山の保全に寄与する報文を広く募集します。

### 国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering: PAWEES) は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊し、2009年12月末にVol.7, No.4が発刊されます。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方々が国際学会へ入会されることを希望します。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑 (水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水 (排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全 (土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全 (水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能 (洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全 (水生, 陸生動物植物の生態系)
- ⑦ 地域計画 (農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ バイオ環境システム (水田農業と水環境, 土壌環境, 気

象環境)

- ⑨ 水田の多目的利用 (田畑転換, 施設園芸)
- ⑩ 農業政策 (農村振興, 条件不利地の支援策など)

水田農業を通じた国際的な研究交流, 情報交換の場として, 皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと, 会員には国際ジャーナルが, 年4回無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag 社 (ドイツ)

発刊スケジュール: 2003年3月創刊, 以後3カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000 円/年/4冊 (送料等学会負担)

学生会員 (院生含む) 8,500 円/年/4冊 (送料等学会負担)

申込先: 農業農村工学会編集出版部 馬目あて

ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp>

※入会のお申込は, 学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm>) の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ, メールまたは FAX でお申し込みいただけます。

### 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2009年1月から2011年12月までの編集事務局 (投稿先) のお知らせ

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering) は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2009年12月末にVol.7, No.4が発刊されます。

わが国においても学術誌の評価に、SCI (Science Citation Index) の IF (Impact Factor) が利用されており、本国際ジャーナルでも IF の取得により高い評価の定着を目指しています。

また、世界13カ国から Editor (20名) を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名な Springer-Verlag 社からの刊行です。

掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、SCI 獲得のために年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りませんが、投稿料、掲載料などを無料として投稿者の負担を軽く

するように配慮されています。

2009年1月から2011年12月までの編集事務局 (投稿先) は、台湾になります。

投稿先: Yu-Pin Lin, Ph. D., Professor

Department of Bioenvironmental Systems Engineering National Taiwan University

No. 1, Sec. 4, Roosevelt Road, Taipei, 10617 Taiwan (R. O. C)

E-mail: [yplin@ntu.edu.tw](mailto:yplin@ntu.edu.tw)

TEL: +8862-2-3366-3467

FAX: +8862-2-2363-5854

(During Jan. 2009 to Dec. 2011)

編集方針: 水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水, 土壌保全, 土地資源や水資源の保全と管理, 水田の多面的機能, 農業政

策, 地域計画, バイオ環境システム, 生態系の保全, 水田保全, 田畑輪換等 である。

編集体制

- Editor-in-Chief : Dr. Yoshisuke Nakano (Japan)  
Professor Emeritus, Kyushu University, Japan
- Editors 13 カ国から 20 名
- Editing Board 33 名
- Managing Editors
- Chief Managing Editor : Prof. Dr. Yu-Pin LIN  
Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Taipei, Taiwan, Rep. of China
- Dr. Katsuyuki SHINOGI  
National Institute for Rural Engineering, Tsukuba, Ja-

pan

- Prof. Dr. Haruhiko HORINO  
Graduate School of Life and Environmental Sciences,  
Osaka Prefecture University, Osaka, Japan
- Dr. Kazunari FUKUMURA  
Department of Agricultural Environmental Engineering,  
Utsunomiya University, Utsunomiya, Japan
- Prof. Dr. Soon-Jin HWANG  
Department of Environmental Science, Konkuk University,  
Seoul, Korea

出版社 : Springer-Verlag 社 (ドイツ)

投稿資格 : 筆者全員が国際学会員であること。

投稿要領等 : <http://www.jsidre.or.jp> に詳細を記載しています。

北海道支部講習会の開催について (第1報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 日 時 平成 22 年 1 月 28 日 (木) 9 : 30 ~ 12 : 30 (予定)
2. 会 場 札幌市・北海道大学学術交流会館  
(札幌市北区北 8 条西 5 丁目・北大正門すぐ)
3. プログラム
  - 1) 土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」の解説
  - 2) 「農業水利施設の機能保全の手引き—パイプライン—」の策定について
 また 2 課題に加え, 積雪寒冷地であり特殊土壌が分布する北海道の状況を考慮した, パイプラインの施工や維持管理につ

いての講演も予定しております。

4. 参加申込み・問合せ先

氏名・所属・会員/非会員を明記の上, メールまたは FAX にてお申し込下さい。申込みの締切は 1 月 18 日 (月) です。

〒060-8589 北海道大学大学院農学研究院内  
農業農村工学会北海道支部事務局

担当 : 柏木淳一 E-mail : [kashi@envagr.hokudai.ac.jp](mailto:kashi@envagr.hokudai.ac.jp)

☎011-706-3641 FAX 011-706-2494

5. 参加費

会員 3,000 円, 非会員 4,000 円

平成 21 年度京都支部地方講習会・研修会の開催について (第2報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 日 時  
地方講習会 : 平成 22 年 2 月 18 日 (木) 13 : 00 ~ 17 : 15  
支部研修会 : 平成 22 年 2 月 19 日 (金) 10 : 00 ~ 16 : 15  
※講師等の都合により, プログラムおよび講演テーマ等を変更することがあります。
2. 場 所  
石川県文教会館大ホール  
〒920-0918 石川県金沢市尾山町 10-5 (☎076-262-7311)  
【交通機関】 JR 金沢駅より香林坊方面行のバスにて「南町」下車, 徒歩 2 分  
小松空港より金沢市内経由バスにて「香林坊」下車, 所要約 50 分, (「香林坊」より徒歩 10 分)
3. プログラム  
(1) 2 月 18 日 (木) 地方講習会  
12 : 00 ~ 受付  
13 : 00 ~ 13 : 10 開会挨拶  
13 : 10 ~ 14 : 10 講演 1 土地改良事業計画設計基準・設計

- 「パイプライン」改定の解説
- 14 : 10 ~ 15 : 10 講演 2 土地改良事業計画設計基準・計画農業用水 (水田・畑) の改定方向
  - 15 : 10 ~ 15 : 20 休憩
  - 15 : 20 ~ 16 : 20 講演 3 農業水利施設の機能保全の手引き「パイプライン」(案) について
  - 16 : 20 ~ 17 : 10 講演 4 農業水利施設の機能保全にかかる取組について
  - 17 : 10 閉会
  - (2) 2 月 19 日 (金) 支部研修会  
9 : 30 ~ 受付  
10 : 00 ~ 10 : 10 開会挨拶  
10 : 10 ~ 11 : 10 基調講演 農地の確保・有効利用にかかる今後の展開方向について  
11 : 10 ~ 11 : 40 講演 1 耕作放棄地対策にかかる北陸農政局管内の取組みについて  
11 : 40 ~ 12 : 10 講演 2 北陸農政局管内における企業の農

- 業参入について
- 12:10~13:10 昼食
- 13:10~13:40 講演3 坂井北部丘陵地における遊休農地再生の取組み
- 13:40~14:10 講演4 大学・研究機関からのアプローチ～農地の管理手法について
- 14:30~16:00 パネルディスカッション

- 16:00 閉会挨拶
4. 問合せ先  
北陸農政局整備部設計課 袖山, 壽時  
〒920-8566 石川県金沢市広坂2-2-60  
☎076-263-2161 (内線 3524) FAX 076-234-8051  
E-mail: masanobu\_juji@hokuriku.maff.go.jp

## 中国四国支部第33回地方講習会の開催について (第2報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



中国四国支部第33回地方講習会を平成22年1月28日(木)に開催します。本講習会の開催要領・参加申し込みについては、下記のとおりです。多数のご参加をお待ちしています。

### 記

- テーマ** 「土地改良事業計画設計基準—パイプライン—」の解説  
「農業水利施設の機能保全の手引き—パイプライン—」の解説  
管更生工法に関する技術的話題
- 日時** 平成22年1月28日(木) 9:30~15:00
- 会場** くにびきメッセ小ホール  
〒690-0826 島根県松江市学園南 1-2-1  
☎0852-24-1111 FAX 0852-22-9219  
URL: <http://www.kunibikimesse.jp/>
- プログラム (予定)**
  - 9:00~ 受付開始
  - 9:30~9:40 開会あいさつ
  - 9:40~10:30 「土地改良事業計画設計基準—パイプライン—」の解説  
農林水産省農村振興局設計課施工企画調整室
  - 10:30~12:00 「農業水利施設の機能保全の手引き—パイプライン—」の策定について  
農林水産省農村振興局水資源課施設保全管理室
  - 12:00~13:00 昼食・休憩
  - 13:00~13:50 「管更生工法の概念」  
島根大学生物資源科学部
  - 14:00~14:50 「更生管の設計および性能照査手法」  
島根大学生物資源科学部
  - 14:50~15:00 閉会あいさつ

講師の都合により、講演テーマ等を変更する場合があります。
- 参加費等**
  - 参加費 4,000円(会員)
  - 5,000円(非会員)
  - 昼食 1,000円(消費税込)

(※会場周辺は食事をする場所が少なく、時間帯からも混み合うことが予想されますので、昼食の手配をご利用下さい。)

### 6. 参加申込み・参加費納入先

#### (1) 申込書

中国四国支部地方講習会参加申込書により所属機関ごとに取りまとめ、E-mail または FAX でお申込み下さい。  
なお、申込書の様式 (Microsoft Excel 形式) を、以下からダウンロードできます。  
<http://zoukou.life.shimane-u.ac.jp/~ici/koushukai/index.html>

#### (2) 参加申込み・問合せ先

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地  
島根県農林水産部農村整備課企画調査グループ  
担当: 堀野, 中村  
☎0852-22-5142 FAX 0852-31-6274  
E-mail: nakamura-hiroo@pref.shimane.lg.jp

#### (3) 申込締切日

平成21年12月25日(金)

#### (4) 参加費納入先

- ・銀行振込または、当日支払いです。どちらで納入するか申込用紙にご記入下さい。  
なお、振込み後の参加費用等の返還には応じられませんので、ご注意下さい。

・振込先 山陰合同銀行 県庁支店

店番 005

口座番号 普通 3639677

口座名称 支部地方講習会実行委員会 中村裕大

(シブチホウコウシュウカイジッコウインカイ ナカムラヒロオ)

※手数料は振込み者負担でお願いします。

また、振込み元がわかるように、所属・氏名等は必ずご記入下さい。

### 7. 宿泊について

宿泊についての斡旋はいたしませんので、ご了承下さい。

### 8. 会場へのアクセス

#### (1) JR 利用の場合



- ・JR 松江駅より徒歩 7 分
- ・JR 松江駅よりバスで 3 分「松江駅・メッセ方面」行き  
「くにびきメッセ前」下車
- (2) 航空機利用の場合
  - ・出雲空港より JR 松江駅まで空港連絡バスで約 25 分、  
米子空港より同 45 分
  - (3) 自家用車の場合
    - ・山陰道「松江中央ランプ」より車で 10 分

### 平成 21 年度農業水利研究部会研究集会開催のお知らせ (第 1 報)

農業水利研究部会

技術者継続教育プログラム認定申請中



平成 21 年度農業水利研究部会研究集会を下記のとおり開催いたします。なお、詳細については学会誌 1 月号に掲載いたします。

1. テーマ 水利資産の地域的活用と土地改良区の経営
2. 趣 旨

水利資産を地域的に活用しつつ土地改良区の経営をどのように進めていくかという現代的課題について、農業用水と地域とのかかわり、土地改良区の果たす役割や経営ならびに運営面での諸課題について、実際に現場で直面している土地改良区の関係者に講演をしていただき、これからの農業水利と土地改良区の経営のあり方を考えてみたいと思います。

3. 日 時 平成 22 年 2 月 13 日 (土) 13 時～17 時

4. 場 所 航空会館 603 会議室  
東京都港区新橋 1-18-1 ☎03-3501-1272

5. 参加費 無料

6. 問合せ先

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科地域資源利用学  
研究室 (中村好男)

☎03-5477-2337 FAX 03-5477-2620

E-mail : nyoshi@nodai.ac.jp

### 第 47 回材料施工研究部会シンポジウムの開催について (第 2 報)

材料施工研究部会

技術者継続教育プログラム認定申請中



学会誌 11 月号に掲載した申込先および問合せ先のメールアドレスが下線のように変更になりましたので、訂正をお願いいたします。

1. 主 催 農業農村工学会材料施工研究部会
2. テーマ 「農業水利施設の補修・補強対策の現状と今後の展望」(仮題)
3. 講 師 農林水産省・研究機関・大学・自治体・民間の研究者および技術者 (予定)
4. 期 日 2010 年 3 月 5 日 (金) 10:00～16:00
5. 会 場 科学技術館サイエンスホール  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2-1  
<http://www.jsf.or.jp/map/>
6. 参加費 4,000 円  
当日、受付にて徴収させていただきます。
7. 申込み  
以下の項目をご記入の上、FAX もしくは E-mail にてお申し

込み下さい。その際、標題欄には「材料施工研究部会シンポジウムへの参加申込」と明記して下さい。

①参加者氏名 ②所属機関名 ③所在地 ④ TEL, FAX, E-mail アドレス ⑤弁当 (代金¥1,000) 予約注文希望の有・無

8. 申込先 〒305-8609 つくば市観音台 2-1-6  
農村工学研究所水利施設機能研究室気付  
材料施工研究部会事務局  
申込受付担当：森 丈久, 森 充広  
☎029-838-7573 FAX 029-838-7609  
E-mail : kinou@naro.affrc.go.jp

9. 申込締切 2010 年 2 月 19 日 (金)

10. 宿 泊 各自で手配して下さいますようお願い致します。

11. 問合せ先 申込先と同じです。

12. その他 詳細は、学会誌次号に掲載予定です。